



Cisco Cyber Vision と Cisco Catalyst SD-WAN の統合

- [Cisco Cyber Vision と Cisco Catalyst SD-WAN の統合 \(2 ページ\)](#)
- [Cisco Cyber Vision との統合に関する情報 \(2 ページ\)](#)
- [Cisco Cyber Vision アプリケーション \(2 ページ\)](#)
- [デバイスで Cisco Cyber Vision アプリケーションがダウンロードおよびインストールされる仕組み \(3 ページ\)](#)
- [Cisco Cyber Vision Center の使用 \(4 ページ\)](#)
- [Cisco Cyber Vision との統合でサポートされるプラットフォーム \(4 ページ\)](#)
- [Cisco Cyber Vision との統合の前提条件 \(4 ページ\)](#)
- [Cisco Cyber Vision との統合に関するガイドライン \(5 ページ\)](#)
- [Cisco Cyber Vision との統合に関する制限事項 \(5 ページ\)](#)
- [Cisco Cyber Vision との統合の設定 \(概要\) \(6 ページ\)](#)
- [Cisco SD-WAN Manager が Cisco Cyber Vision Center に接続されたことを確認する \(13 ページ\)](#)
- [CLI を使用して Cisco Cyber Vision アプリケーションがデバイスで動作していることを確認する \(14 ページ\)](#)
- [デバイスでの Cisco Cyber Vision アプリケーションのモニター \(15 ページ\)](#)

Cisco Cyber Vision と Cisco Catalyst SD-WAN の統合

表 1: 機能の履歴

機能名	リリース情報	機能説明
Cisco Cyber Vision との統合	Cisco IOS XE Catalyst SD-WAN リリース 17.15.1a Cisco Catalyst SD-WAN 制御コンポーネントリリース 20.15.1 Cisco Cyber Vision Center リリース 5.0.0	Cisco SD-WAN Manager は、Cisco Cyber Vision ネットワーク セキュリティ ソリューションとの統合をサポートします。1 つまたは複数のインターフェイスのトラフィックをモニターして、セキュリティ上の懸念事項を分析するためにトラフィックを Cisco Cyber Vision Center に送信するようにネットワーク内のデバイスを設定できます。

Cisco Cyber Vision との統合に関する情報

Cisco SD-WAN Manager は、ネットワーク セキュリティ ソリューションである Cisco Cyber Vision との統合をサポートしています。Cisco Cyber Vision は、グローバルネットワークのセキュリティステータスを可視化し、ネットワーク内のデバイスが安全なポスチャを維持するために注意が必要なタイミングを示し、セキュリティポリシーの設定などを支援します。ブラウザベースのマネージャは、Cisco Cyber Vision Center と呼ばれます。Cisco Cyber Vision のドキュメントは、[こちら](#)で入手できます。

統合の価値

この統合により、Cisco SD-WAN Manager を使用してネットワーク内のデバイスがセンサーとして動作するように設定したり、Cisco Cyber Vision の用語を使用したりできるようになります。センサーとは、1 つまたは複数のインターフェイスのトラフィックをモニターして、セキュリティ上の懸念事項を分析するためにトラフィックを Cisco Cyber Vision Center に送信するように設定するデバイス（ルータなど）です。こうしたセンサーは、Cisco Cyber Vision でネットワーク内のセキュリティ脅威を管理できるようにするための重要な部分です。

Cisco Cyber Vision アプリケーション

ネットワークデバイスで有効にできる多くの機能とは対照的に、Cisco Cyber Vision 機能は Cisco IOS XE Catalyst SD-WAN ソフトウェアリリースの一部として組み込まれていません。

デバイスで Cisco Cyber Vision を有効にすると、デバイスでは Cisco Cyber Vision アプリケーションがダウンロード後にインストールされます。これは、Docker コンテナで動作する Cisco IOx アプリケーションです。他の Cisco IOx アプリケーションと同様に、Cisco Cyber Vision ア

アプリケーションは Cisco IOS XE Catalyst SD-WAN と連携して動作し、追加の機能を提供します。

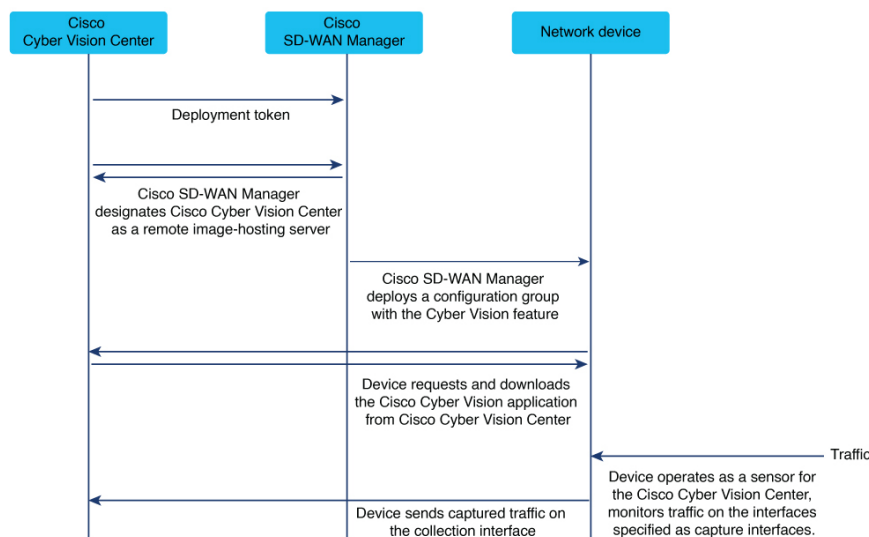
インストールが正常に完了すると、デバイスは Cisco Cyber Vision のセンサーとして動作します。このデバイスが Cisco Cyber Vision Center のセンサーリストに表示されます。

デバイスで Cisco Cyber Vision アプリケーションがダウンロードおよびインストールされる仕組み

Cisco Cyber Vision との統合の場合、Cisco SD-WAN Manager は Cisco Cyber Vision Center を Cisco Cyber Vision アプリケーションのリモートイメージホスティングサーバーとして指定します。

アプリケーションのインストールプロセスの概要

図 1: Cisco Cyber Vision と Cisco Catalyst SD-WAN の統合



1. ネットワーク階層内の [Cisco Cyber Vision Center への接続設定 \(7 ページ\)](#) に記載の手順の前提条件で示されているように、Cisco Cyber Vision Center にログインして、展開トークンと呼ばれるタイプのトークンを生成します。
2. ネットワーク階層内の [Cisco Cyber Vision Center への接続設定 \(7 ページ\)](#) に記載の手順を完了すると、Cisco SD-WAN Manager は展開トークンの情報を使用して、Cisco Cyber Vision Center を Cisco Cyber Vision アプリケーションのホストとして指定します。

Cisco SD-WAN Manager は Cisco Cyber Vision Center をアプリケーションのダウンロード元のホストとして指定するために、Cisco Cyber Vision Center をリモートサーバーとして追加します。追加されると、**[Maintenance] > [Software Repository]** ページの **[Remote server]** タブに表示されます。[Cisco Cyber Vision との統合に関するガイドライン \(5 ページ\)](#) で説明されているように、このサーバーは編集または削除しないでください。

3. Cisco Cyber Vision の設定をネットワーク内のデバイスにプッシュすると、デバイスが Cisco Cyber Vision Center に接続されて、Cisco Cyber Vision アプリケーションがダウンロードされます。
4. デバイスではアプリケーションがインストールされた後に、アクティブ化されます。これにより、デバイスが Cisco Cyber Vision Center のセンサーとして機能できるようになります。

Cisco Cyber Vision Center の使用

ここで説明する手順を実行すると、デバイスが Cisco Cyber Vision Center のセンサーとして機能できるようになります。設定が完了したら、Cisco Cyber Vision Center を使用して、Cisco Catalyst SD-WAN で管理しているネットワークのセキュリティをモニターします。詳細については、最新の [Cisco Cyber Vision GUI アドミニストレーションガイド \[英語\]](#) を参照してください。

Cisco Cyber Vision との統合でサポートされるプラットフォーム

表 2: サポートされるプラットフォーム

プラットフォームシリーズ	モデル	サポート対象の最低バージョン
Cisco Catalyst IR1100 高耐久性シリーズ	IR 1101	Cisco Catalyst SD-WAN 制御コンポーネントリリース 20.15.1
Cisco Catalyst IR1800 高耐久性シリーズ	IR1821 IR1831 IR1833 IR1835	Cisco Catalyst SD-WAN 制御コンポーネントリリース 20.16.1

Cisco Cyber Vision との統合の前提条件

Cisco Cyber Vision Center のバージョン

Cisco Cyber Vision Center リリース 5.0.0 以降

Cisco Cyber Vision Center へのネットワーク到達可能性

Cisco Cyber Vision 機能を追加した設定グループを展開する前に、ネットワーク内のデバイスが Cisco Cyber Vision Center に到達できることを確認します。

この要件があるため、デバイスと Cisco Cyber Vision Center を連携させるための設定は、次の 2 段階のプロセスになります。

1. 設定グループを一連のデバイスに展開して、Cisco Cyber Vision Center への到達可能性を確立します。
2. 設定グループを一連のデバイスに展開して、デバイスで Cisco Cyber Vision を有効にします。

前の手順で到達可能性を確立したら、その手順で使用したのと同じ設定グループを変更して Cisco Cyber Vision 機能を追加し、その設定グループをデバイスに展開できます。

Cisco Cyber Vision 機能が組み込まれており、すでにデバイスに展開済みの設定グループにデバイスを追加する場合にも、これと同じ要件が適用されます。設定グループを追加のデバイスに展開する場合は、上記の点に注意して、まず追加のデバイスで Cisco Cyber Vision Center への到達可能性を確立します。

仮想ポートグループ

Cisco Cyber Vision アプリケーションでは、仮想ポートグループ (VPG) インターフェイス 5 および 6 が使用可能である必要があります。これらの VPG インターフェイスが別のアプリケーションで使用するよう設定されていないことを確認してください。

Cisco Cyber Vision との統合に関するガイドライン

リモートサーバーは削除しないでください

Cisco SD-WAN Manager では、1 つ以上の Cisco Cyber Vision Center インスタンスが **[Maintenance]** > **[Software Repository]** ページの **[Remote server]** タブにサーバーとして追加されます。

これらのリモートサーバーは編集または削除しないでください。

Cisco Cyber Vision との統合に関する制限事項

Cisco IOx アプリケーションの制限事項

デバイスが Cisco Cyber Vision アプリケーションを実行している場合、他の Cisco IOx アプリケーションを実行することはできません。

同じトークンを使用して、**Cisco Cyber Vision Center** にデバイスを複数回オンボードすることはできません

この制限事項は、Cisco Catalyst SD-WAN Manager リリース 20.16.x にのみ適用されます。

ネットワーク階層内の **Cisco Cyber Vision Center** への接続設定（7 ページ）で説明されているように、Cisco SD-WAN Manager は Cisco Cyber Vision で作成された展開トークンを使用して、Cisco Cyber Vision Center とのセキュアなリンク（手順内では接続と呼ばれます）を確立します。Cisco SD-WAN Manager と Cisco Cyber Vision Center の間にこのような接続を複数設定できます。

Cisco Catalyst SD-WAN Manager リリース 20.16.x を使用する場合、1 つの展開トークンを使用して 1 回だけネットワーク内のデバイスを Cisco Cyber Vision Center にオンボードできます。

Cisco Cyber Vision Center インスタンスからデバイスをアンインストールする場合、新しいトークンを使用して同じ Cisco Cyber Vision Center インスタンスにデバイスを再展開する必要があります。Cisco SD-WAN Manager では、これは Cisco Cyber Vision Center への新しい接続を使用することを意味します。

別の **Cisco Cyber Vision Center** インスタンスにデバイスを移動するには、デバイスから **Cyber Vision** アプリケーションをアンインストールする必要があります。

この制限事項は、Cisco Catalyst SD-WAN Manager リリース 20.15.x および Cisco Catalyst SD-WAN Manager リリース 20.16.x に適用されます。

Cisco Cyber Vision のインスタンスにオンボードしたデバイスを Cisco Cyber Vision の別のインスタンスに移動する必要がある場合は、最初に Cyber Vision 機能が搭載されていないデバイスに設定をプッシュする必要があります。これにより、デバイスから Cyber Vision アプリケーションがアンインストールされます。次に、新しい Cisco Cyber Vision インスタンスを示すデバイスに新しい設定をプッシュします。

Cisco Cyber Vision との統合の設定（概要）

手順

-
- ステップ 1 ネットワーク階層内の **Cisco Cyber Vision Center** への接続設定（7 ページ）
 - ステップ 2 **Cyber Vision** 機能を追加した設定グループプロファイルの作成（8 ページ）
 - ステップ 3 設定グループへの **Cyber Vision** 機能の追加（11 ページ）
 - ステップ 4 **Cisco Cyber Vision** 機能を追加した設定グループの展開（11 ページ）
-

次のタスク

設定手順が完了すると、デバイスで実行されている Cisco Cyber Vision アプリケーションのアクティビティをモニターできます。[デバイスでの Cisco Cyber Vision アプリケーションのモニター \(15 ページ\)](#) を参照してください。

ネットワーク階層内の Cisco Cyber Vision Center への接続設定

始める前に

- 展開トークン

Cisco Cyber Vision Center で 1 つ以上の展開トークンを作成して、デバイスが Cisco Cyber Vision Center とのセキュアなリンクを確立できるようにします。次の表では、サポートされるプラットフォームの種類に応じて必要なトークンタイプを示します。

表 3: プラットフォームに必要なトークンタイプ

プラットフォーム	トークンタイプ
Cisco Catalyst IR1101 高耐久性シリーズ	cviox-aarch64.tar

展開トークンの作成に関する詳細は、最新の [Cisco Cyber Vision GUI アドミニストレーション ガイド \[英語\]](#) を参照してください。

トークンテキストをコピーし、手順でできるように準備しておきます。

- 接続

Cisco Cyber Vision と連携するネットワーク内のデバイスは、ネットワークを経由して Cisco Cyber Vision Center に到達する必要があります。ネットワークトポロジがこの到達可能性を提供していることを確認します。

手順

ステップ 1 Cisco SD-WAN Manager メニューから、**[Configuration] > [Network Hierarchy]** を選択します。

ステップ 2 **[External Services]** をクリックします。

ステップ 3 **[Cyber Vision]** ペインで **[Add Cyber Vision Center]** をクリックします。

ステップ 4 Cisco Cyber Vision 接続のテーブルで、次のように入力します。

フィールド	説明
Name	Cisco Cyber Vision Center の名前。

フィールド	説明
IP Address or Hostname	Cisco Cyber Vision Center をホストするサーバーの IP アドレス。 (注) ホスト名を入力することはできません。
Token	前提条件に記載されているように、Cisco Cyber Vision Center からコピーした展開トークンに貼り付けます。
VPN	ネットワーク内のデバイスが Cisco Cyber Vision Center に接続するための VPN。

ステップ 5 [Save] をクリックします。

トークンに含まれている情報を使用して、Cisco SD-WAN Manager はリモート イメージ ホスティング サーバーの 1 つとしてサーバーを自動的に設定します。このサーバーは、**[Maintenance]>[Software Repository]** ページの **[Remote server]** タブに表示されます。[デバイスで Cisco Cyber Vision アプリケーションがダウンロードおよびインストールされる仕組み \(3 ページ\)](#) を参照してください。

Cyber Vision 機能を追加した設定グループプロファイルの作成

始める前に

[Configuration]>[Configuration Groups] ページで、次のいずれかを選択します。

- [SD-WAN] または
- [SD-Routing]

をソリューションタイプとして選択します。

手順

ステップ 1 Cisco SD-WAN Manager のメニューから、**[Configuration]>[Configuration Groups]** を選択します。

ステップ 2 その他のプロファイルで [Cyber Vision](#) 機能を作成して設定します。

1. この機能の名前と説明を入力します。

表 4: 名前と説明

フィールド	説明
Name	Cisco Cyber Vision Center の名前。
Description	任意で説明を追加します。

2. 基本の設定フィールドを入力します。

表 5: 基本設定

フィールド	説明
Cyber Vision Center	ドロップダウンリストで、以前に設定した接続リストから Cisco Cyber Vision Center 接続を選択します。「 ネットワーク階層内の Cisco Cyber Vision Center への接続設定 」を参照してください。
Monitoring Source Interface	[Add] をクリックして、トラフィックのモニタリングで使用するデバイスのインターフェイスを入力します。デバイスでモニターするネットワークやトラフィックに応じて選択します。 例：VLAN インターフェイス、セルラーインターフェイス、WAN インターフェイス

3. [Advanced Configuration] エリアは、[SD-WAN] ソリューションオプションで [Cyber Vision] 機能を設定している場合にのみ表示されます。[SD-Routing] ソリューションオプションの場合は表示されません。

このエリアのフィールドでは変数を使用するように事前設定されており、ユーザーは設定グループを展開するときに各デバイス固有の情報を入力できます。[Cisco Cyber Vision 機能を追加した設定グループの展開 \(11 ページ\)](#) を参照してください。ただし、変数を使用する代わりに、グローバルデバイス値を使用することもできます。

表 6: 詳細設定

フィールド	説明
Capture Interface IP	分析対象のトラフィックをキャプチャするインターフェイスの IP アドレス。
Capture Interface Subnet Mask	分析対象のトラフィックをキャプチャするインターフェイスのサブネットマスク。

フィールド	説明
Collection Interface (Sensor to Center) IP	キャプチャされたトラフィックを Cisco Cyber Vision Center に送信する収集インターフェイスの IP アドレスを入力します。この IP アドレスが [Collection Interface Subnet Mask] フィールドで定義されたサブネットマスク内にあることを確認してください。 (注) 同じサービス VPN を介して Cisco Cyber Vision Center に接続しているデバイスごとに、収集インターフェイスの一意の IP アドレスを入力します。 単一のサービス VPN 内の各インターフェイスでは、一意の IP アドレスを使用する必要があります。 Cisco Cyber Vision Center との通信用に設定されたサービス VPN を表示する方法については、「ネットワーク階層内の Cisco Cyber Vision Center への接続設定」を参照してください。
Collection Interface Subnet Mask	キャプチャされたトラフィックを Cisco Cyber Vision Center に送信する収集インターフェイスのサブネットマスク。このサブネットマスクは、デバイスと Cisco Cyber Vision Center 間の通信に使用されるサービス VPN のアドレス空間を定義します。
VPG5 (Virtual Port Group) IP Address	[Collection Interface Subnet Mask] フィールドで定義されたサブネットマスク内の IP アドレス。これは、収集インターフェイスと同じネットワークのアドレスです。 (注) 同じサービス VPN を介して Cisco Cyber Vision Center に接続しているデバイスごとに、VPG5 の一意の IP アドレスを入力します。 単一のサービス VPN 内の各インターフェイスでは、一意の IP アドレスを使用する必要があります。
VPG6 (Virtual Port Group) IP Address	このフィールドは事前設定されており、編集できません。

次のタスク

「[Deploy a configuration group](#)」[英語] も参照してください。

設定グループへの Cyber Vision 機能の追加

手順

ステップ 1 Cisco SD-WAN Manager のメニューから、**[Configuration] > [Configuration Groups]** を選択します。

ステップ 2 [solution] ドロップダウンリストで、

- [SD-WAN] または
- [SD-Routing]

をソリューションタイプとして選択し、このソリューションの設定グループのみを表示します。

ステップ 3 [Configuration Groups] タブをクリックします。

ステップ 4 設定グループを作成する必要がある場合は、『Cisco Catalyst SD-WAN Configuration Groups』の「[Using Configuration Groups](#)」[英語] で説明されている手順に従います。

ステップ 5 既存の設定グループの場合は、[Add Profile] をクリックして、設定グループに [Other Profile] を追加します。

ステップ 6 設定グループで [Other Profile] ドロップダウンリストを見つけて、Cisco Cyber Vision プロファイルを選択します。

Cisco Cyber Vision 機能を追加した設定グループの展開

始める前に

- Cisco Cyber Vision 機能を追加した設定グループを展開する前に、[Cisco Cyber Vision との統合でサポートされるプラットフォーム（4 ページ）](#) を参照してください。
- Cisco Cyber Vision 機能を追加した設定グループを展開する前に、ネットワーク内のデバイスが Cisco Cyber Vision Center に到達できることを確認します。これには次の 2 つの手順が必要です。

1. 設定グループを展開して、Cisco Cyber Vision Center への到達可能性を確立します。
2. 設定グループを展開して、デバイスで Cisco Cyber Vision を有効にします。

前の手順で到達可能性を確立したら、その手順でを使用したものと同じ設定グループを変更して Cisco Cyber Vision 機能を追加し、その設定グループをデバイスに展開できます。

[Cisco Cyber Vision との統合の前提条件（4 ページ）](#) を参照してください。



- (注) Cisco Cyber Vision 機能が組み込まれており、すでにデバイスに展開済みの設定グループにデバイスを追加する場合にも、これと同じ要件が適用されます。設定グループを追加のデバイスに展開する場合は、上記の点に注意して、まず追加のデバイスで Cisco Cyber Vision Center への到達可能性を確立します。

手順

ステップ 1 『Cisco Catalyst SD-WAN Configuration Groups』の「[standard configuration group deployment procedure](#)」[英語]に従って、ネットワーク内のデバイスに設定グループを展開します。

ステップ 2 SD-WAN ソリューションタイプのデバイスに展開する場合は、展開時にルータごとに [CV_SDWAN] ペインでデバイス固有の変数を入力します。

SD-Routing ソリューションタイプのデバイスに展開する場合は、この手順をスキップしてください。

フィールド	説明
collection_int_ip	キャプチャされたトラフィックを Cisco Cyber Vision Center に送信する収集インターフェイスの IP アドレスを入力します。この IP アドレスが [collection_int_subnet] フィールドで定義されたサブネットマスク内にあることを確認してください。 (注) 同じサービス VPN を介して Cisco Cyber Vision Center に接続しているデバイスごとに、収集インターフェイスの一意の IP アドレスを入力します。 単一のサービス VPN 内の各インターフェイスでは、一意の IP アドレスを使用する必要があります。 Cisco Cyber Vision Center との通信用に設定されたサービス VPN を表示する方法については、ネットワーク階層内の Cisco Cyber Vision Center への接続設定 (7 ページ) を参照してください。
collection_int_subnet	キャプチャされたトラフィックを Cisco Cyber Vision Center に送信する収集インターフェイスのサブネットマスク。このサブネットマスクは、デバイスと Cisco Cyber Vision Center 間の通信に使用されるサービス VPN のアドレス空間を定義します。

フィールド	説明
vpg5-ip	[collection_int_subnet] フィールドで定義されたサブネットマスク内の IP アドレス。これは、収集インターフェイスと同じネットワークのアドレスです。 (注) 同じサービス VPN を介して Cisco Cyber Vision Center に接続しているデバイスごとに、VPG5 の一意の IP アドレスを入力します。 単一のサービス VPN 内の各インターフェイスでは、一意の IP アドレスを使用する必要があります。

ステップ 3 デバイスに Cisco Cyber Vision アプリケーションをインストールする際に進行状況をモニターするには、インストールのログメッセージを表示します。

1. 右上近くにあるタスクリストボタンをクリックします。
2. [Deploy configuration group] タスクをクリックします。
この操作により、各デバイスに関する展開の進行状況を示すページが開きます。
3. デバイスの横にある [Action] 列のログアイコンをクリックします。

[View Logs] ペインが開き、そのデバイスに関する展開の進行状況が表示されます。展開が完了し、デバイスと Cisco Cyber Vision サーバーとの接続が確立されると、「Config Group successfully deployed to device,」といった成功メッセージがログに表示されます。

Cisco Cyber Vision 機能を追加した設定グループをはじめてデバイスに展開すると、デバイスで Cisco Cyber Vision アプリケーションのインストールがトリガーされます。デバイスで Cisco Cyber Vision アプリケーションのインストールが完了するまで数分かかります。インストールが正常に完了すると、デバイスは Cisco Cyber Vision のセンサーとして動作します。このデバイスが Cisco Cyber Vision Center のセンサーリストに表示されます。これを確認する方法については、[Cisco SD-WAN Manager が Cisco Cyber Vision Center に接続されたことを確認する \(13 ページ\)](#) を参照してください。

Cisco SD-WAN Manager が Cisco Cyber Vision Center に接続されたことを確認する

Cisco Cyber Vision 機能を追加した設定グループを作成した場合、その設定グループをデバイスに展開すると、デバイスで Cisco Cyber Vision アプリケーションのインストールがトリガーされます。デバイスで Cisco Cyber Vision アプリケーションのインストールが完了するまで数分かかります。インストールが正常に完了すると、デバイスは Cisco Cyber Vision のセンサーとして動作します。このデバイスが Cisco Cyber Vision Center のセンサーリストに表示されます。
「[Cisco Cyber Vision アプリケーション](#)」を参照してください。

CLI を使用して Cisco Cyber Vision アプリケーションがデバイスで動作していることを確認する

始める前に

Cisco Cyber Vision 機能を追加した設定グループを 1 つ以上のデバイスに展開します。[Cisco Cyber Vision 機能を追加した設定グループの展開 \(11 ページ\)](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 Cisco Cyber Vision Center にログインします。

ステップ 2 アクティブなセンサーを表示します。詳細については、最新の [Cisco Cyber Vision GUI アドミニストレーション ガイド \[英語\]](#) を参照してください。

各デバイスは、センサーのリストに個別に表示されます。

CLI を使用して Cisco Cyber Vision アプリケーションがデバイスで動作していることを確認する

この検証方法は、SD-WAN または SD-Routing ソリューションのデバイスに適用できます。

始める前に

Cisco Cyber Vision 機能を追加した設定グループを 1 つ以上のデバイスに展開します。[Cisco Cyber Vision 機能を追加した設定グループの展開 \(11 ページ\)](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 Cisco Cyber Vision アプリケーションを実行しているデバイスで、次のコマンドを実行します。

```
Device# show iox-service
```

ステップ 2 前のステップのコマンドの出力に基づいて、次のいずれかを実行します。

- コマンド出力に IOxman サービスが実行中であることが示されている場合は、次の手順に進みます。
- コマンド出力に IOxman サービスが実行中でないと表示される場合は、Cisco Cyber Vision アプリケーションが正しく動作していないことを示します。アプリケーションを再インストールします。[Cisco Cyber Vision 機能を追加した設定グループの展開 \(11 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 3 同じデバイスで、次のコマンドを実行します。実行中の状態であるとコマンド出力に表示される場合は、Cisco Cyber Vision アプリケーションが正しく動作していることを示します。

```
Device# show app-hosting detail appid cv
```

例

この例では、Cisco Cyber Vision アプリケーションがインストールされ、動作しています。ここではコマンド出力が省略されることに注意してください。

```
Device# show iox-service
IOx Infrastructure Summary:
IOx service (CAF)           : Running
IOx service (HA)           : Not Supported
IOx service (IOxman)       : Running
IOx service (Sec storage)   : Running
Libvirtd 5.5.0             : Running
Dockerd v19.03.13-ce       : Running

Device# show app-hosting detail appid cv
App id                      : cv
Owner                      : iox
State                      : RUNNING
...
```

デバイスでの Cisco Cyber Vision アプリケーションのモニター

始める前に

Cisco Cyber Vision 機能を追加した設定グループを 1 つ以上のデバイスに展開します。[Cisco Cyber Vision 機能を追加した設定グループの展開 \(11 ページ\)](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 Cisco SD-WAN Manager のメニューから **[Monitor] > [Devices]** の順に選択します。

ステップ 2 SD-WAN ソリューションの対象デバイス名をクリックします。

(注)

このモニタリング方法は、SD-WAN ソリューションのデバイスには適用できますが、SD-Routing ソリューションのデバイスには適用できません。

ステップ 3 **[Real Time]** タブをクリックします。

ステップ 4 **[Device Options]** フィールドに次のいずれかのアプリケーションホスティングコマンドを入力して、デバイスで実行されている Cisco Cyber Vision アプリケーションのリソース使用状況やその他の詳細を表示します。

- アプリケーション ホスティングの詳細
- アプリケーション ホスティングの稼働率
- アプリケーション ホスティング ネットワークの稼働率

- アプリケーション ホスティング ストレージの使用率
 - アプリケーション ホスティング プロセス
 - アプリケーション ホスティングでアタッチされるデバイス
 - アプリケーション ホスティング ネットワーク インターフェイス
 - アプリケーション ホスティング ゲスト ルート
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。